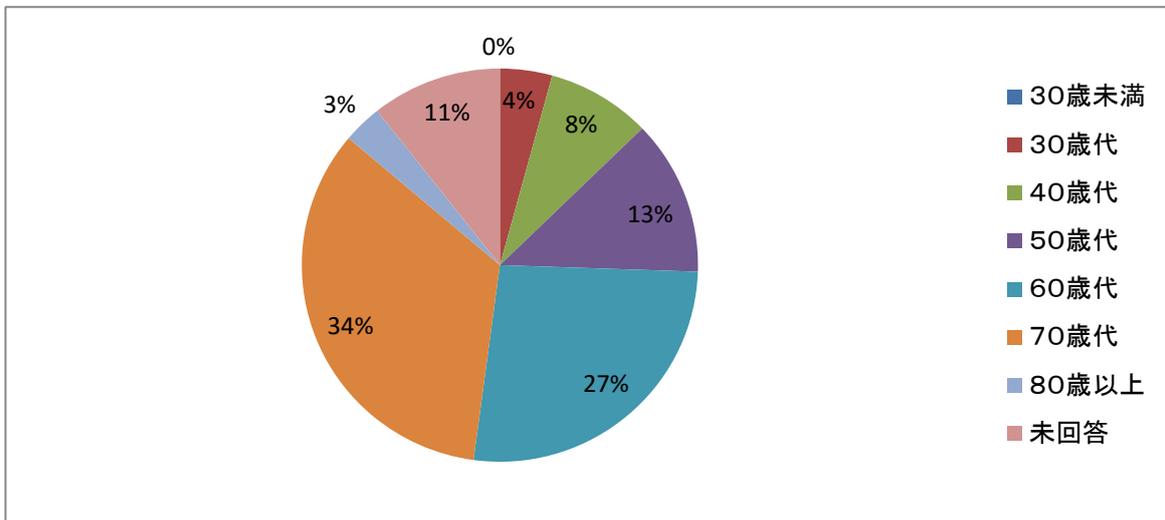


1 自治会・町会の会長について

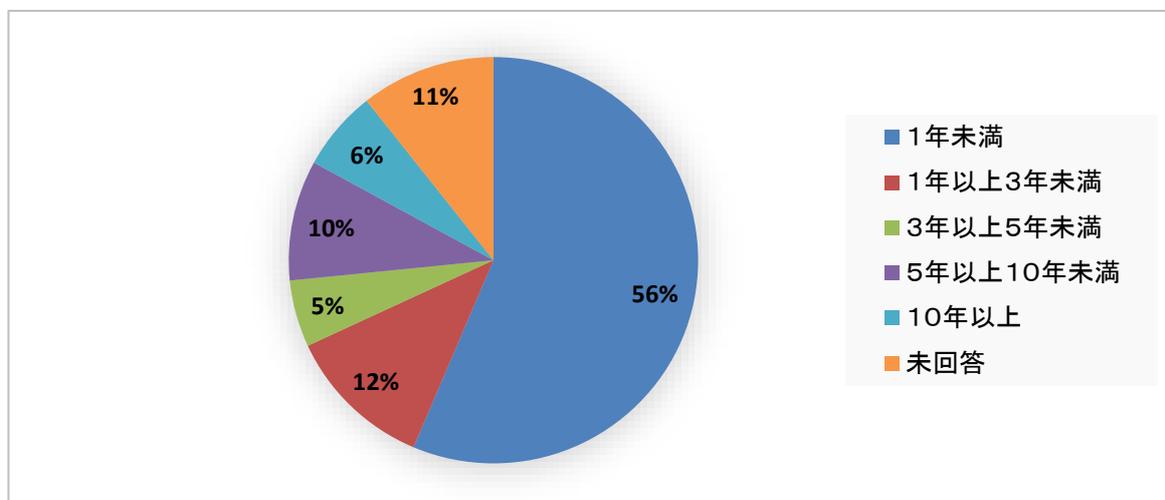
問1 会長の年齢(年代)について

選択肢		回答数	割合
1	30歳未満	0	0.0%
2	30歳代	4	4.3%
3	40歳代	8	8.5%
4	50歳代	12	12.8%
5	60歳代	25	26.6%
6	70歳代	32	34.0%
7	80歳以上	3	3.2%
8	未回答	10	10.6%



問2 会長の在職年数について

選択肢		回答数	割合
1	1年未満	53	56.4%
2	1年以上3年未満	11	11.7%
3	3年以上5年未満	5	5.3%
4	5年以上10年未満	9	9.6%
5	10年以上	6	6.4%
6	未回答	10	10.6%

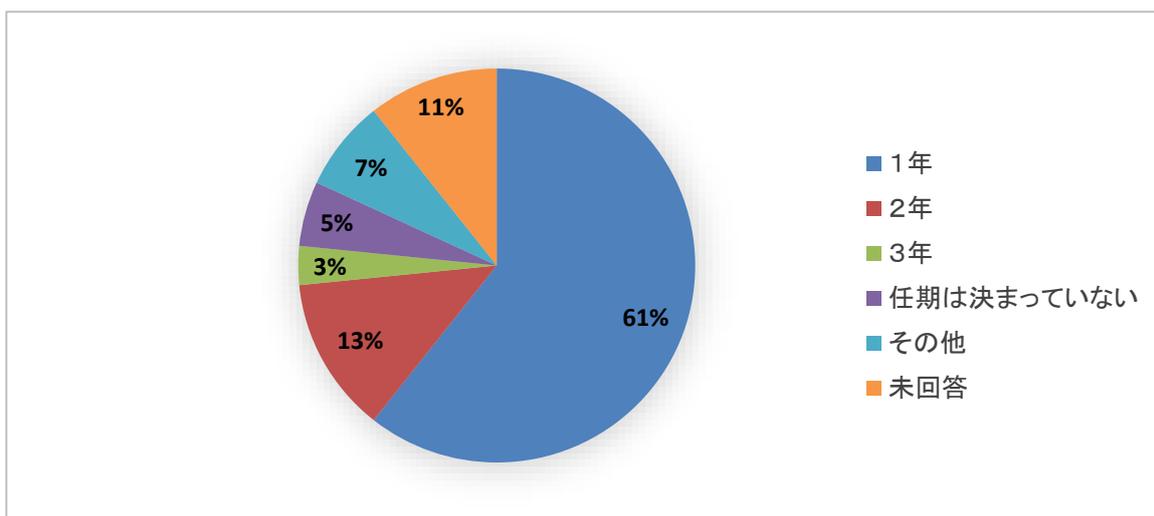


問3 会長の任期について

選択肢		回答数	割合
1	1年	57	60.6%
2	2年	12	12.8%
3	3年	3	3.2%
4	任期は決まっていない	5	5.3%
5	その他	7	7.4%
6	未回答	10	10.6%

その他の回答

- ・1期2年、原則2期4年まで。例外で1期延長できる。
- ・毎年改選、再選は4年まで。
- ・原則5年。
- ・立候補制。

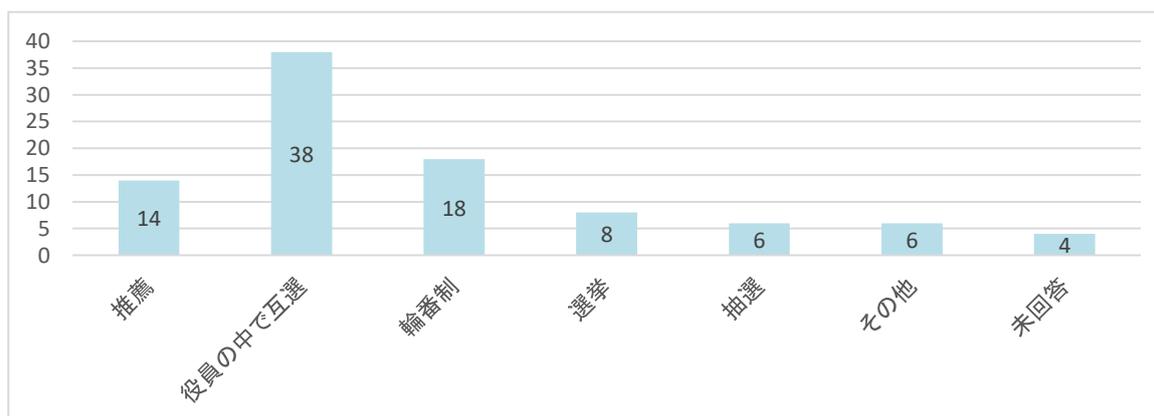


問4 会長の選出方法について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	推薦	14	14.9%
2	役員の中で互選	38	40.4%
3	輪番制	18	19.1%
4	選挙	8	8.5%
5	抽選	6	6.4%
6	その他	6	6.4%
7	未回答	4	4.3%

その他の回答

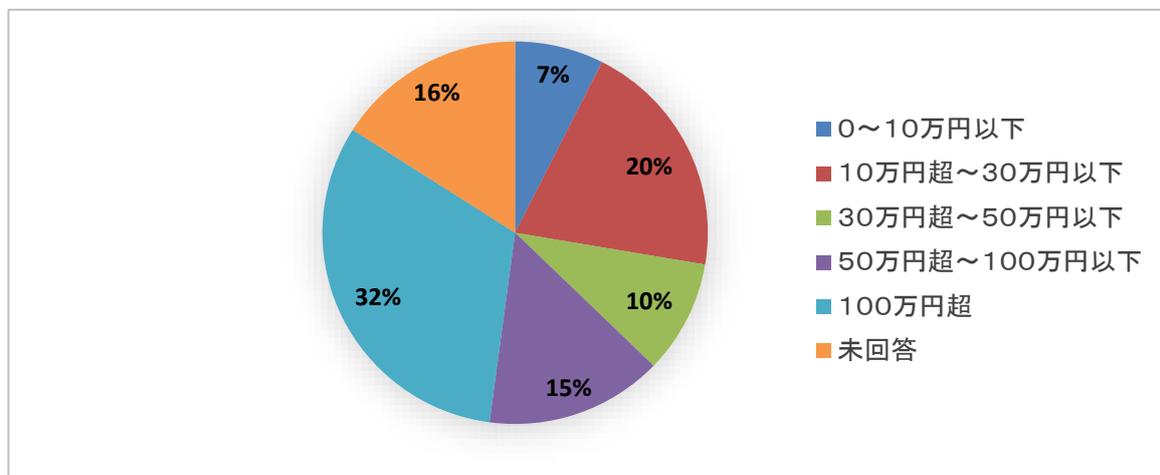
- ・通例、副会長を1、2年経験して会長に推薦され、総会で選ばれる。
- ・役員候補を選出し、5年先までの計画を作成。



2 自治会・町会の運営について

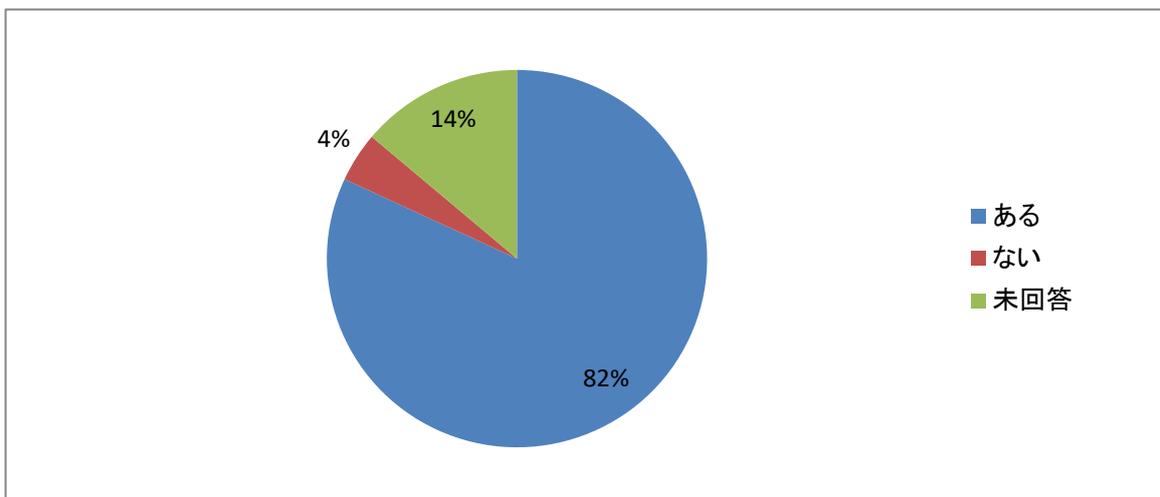
問5 自治会・町会の年間予算額について(令和元年度実績)

選択肢		回答数	割合
1	0～10万円以下	7	7.4%
2	10万円超～30万円以下	19	20.2%
3	30万円超～50万円以下	9	9.6%
4	50万円超～100万円以下	14	14.9%
5	100万円超	30	31.9%
6	未回答	15	16.0%



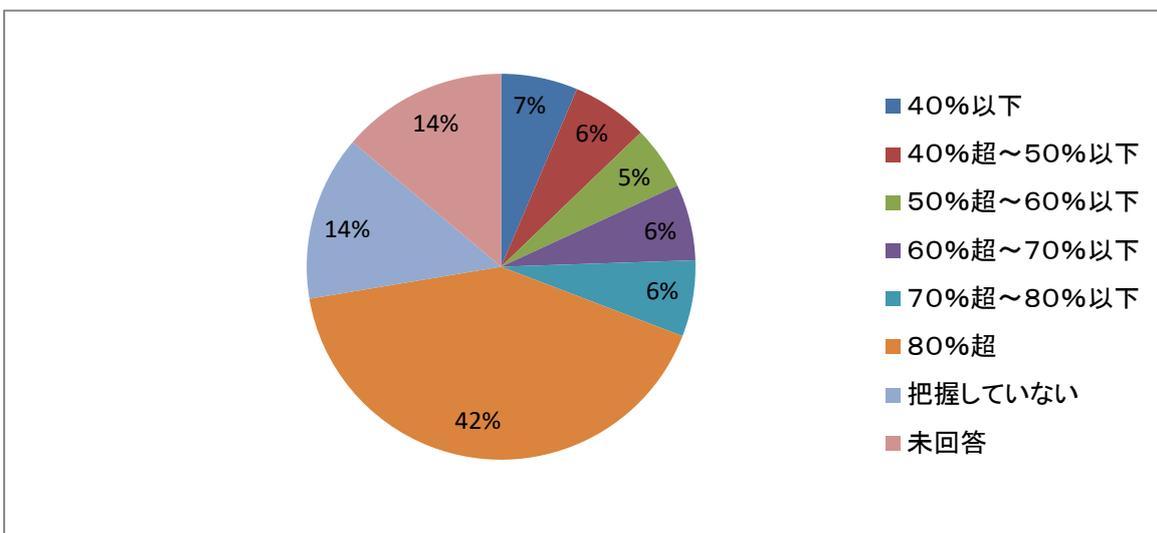
問6 自治会・町会の会則等の有無について

選択肢		回答数	割合
1	ある	77	81.9%
2	ない	4	4.3%
3	未回答	13	13.8%



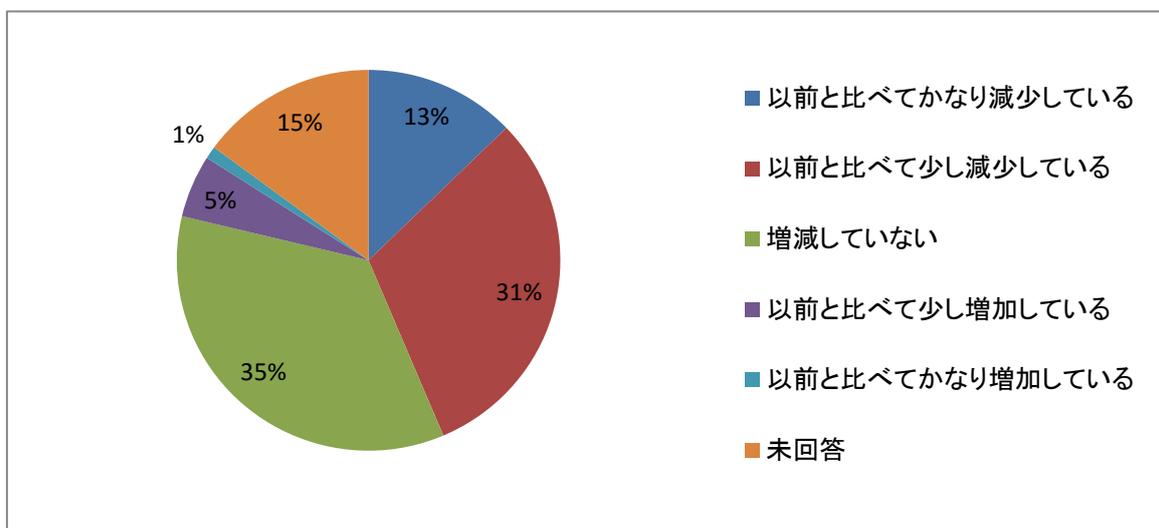
問7 自治会・町会の加入率について

選択肢		回答数	割合
1	40%以下	6	6.4%
2	40%超～50%以下	6	6.4%
3	50%超～60%以下	5	5.3%
4	60%超～70%以下	6	6.4%
5	70%超～80%以下	6	6.4%
6	80%超	39	41.5%
7	把握していない	13	13.8%
8	未回答	13	13.8%



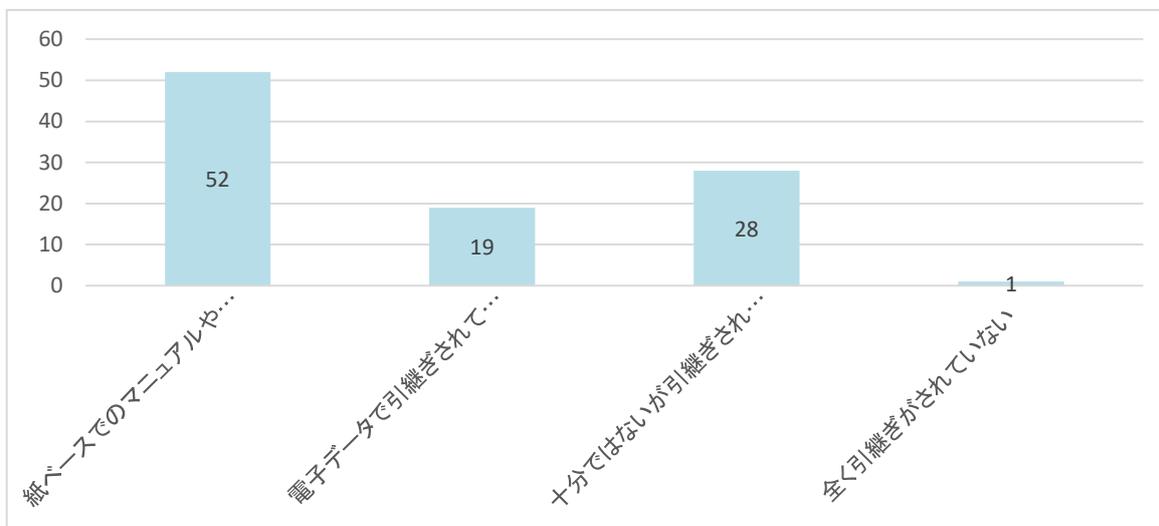
問8 自治会・町会の加入率の増減について

選択肢		回答数	割合
1	以前と比べてかなり減少している	12	12.8%
2	以前と比べて少し減少している	29	30.9%
3	増減していない	33	35.1%
4	以前と比べて少し増加している	5	5.3%
5	以前と比べてかなり増加している	1	1.1%
6	未回答	14	14.9%



問9 役員交代時の引継ぎについて(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	紙ベースでのマニュアルや資料で引継ぎされている	52	55.3%
2	電子データで引継ぎされている	19	20.2%
3	十分ではないが引継ぎされている	28	29.8%
4	全く引継ぎがされていない	1	1.1%
5	未回答	12	12.8%

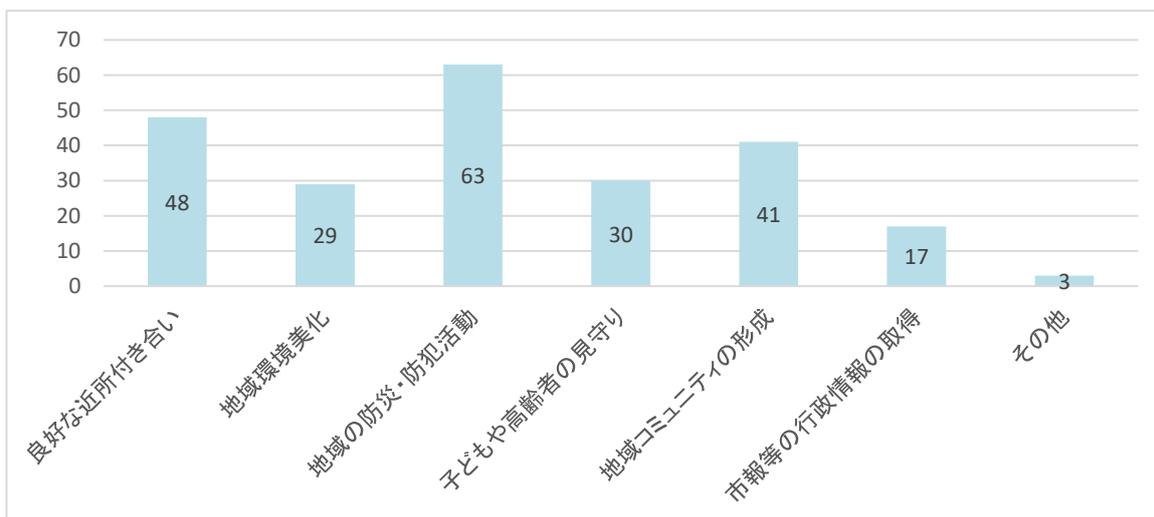


問10 自治会・町会への加入の意義について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	良好な近所付き合い	48	51.1%
2	地域環境美化	29	30.9%
3	地域の防災・防犯活動	63	67.0%
4	子どもや高齢者の見守り	30	31.9%
5	地域コミュニティの形成	41	43.6%
6	市報等の行政情報の取得	17	18.1%
7	その他	3	3.2%
8	未回答	10	10.6%

その他の回答

- ・個々人が自分はその町内会の一員であると認識すること。
- ・加入しなければいけない流れである。
- ・高齢化率80%の団地のため模索中。

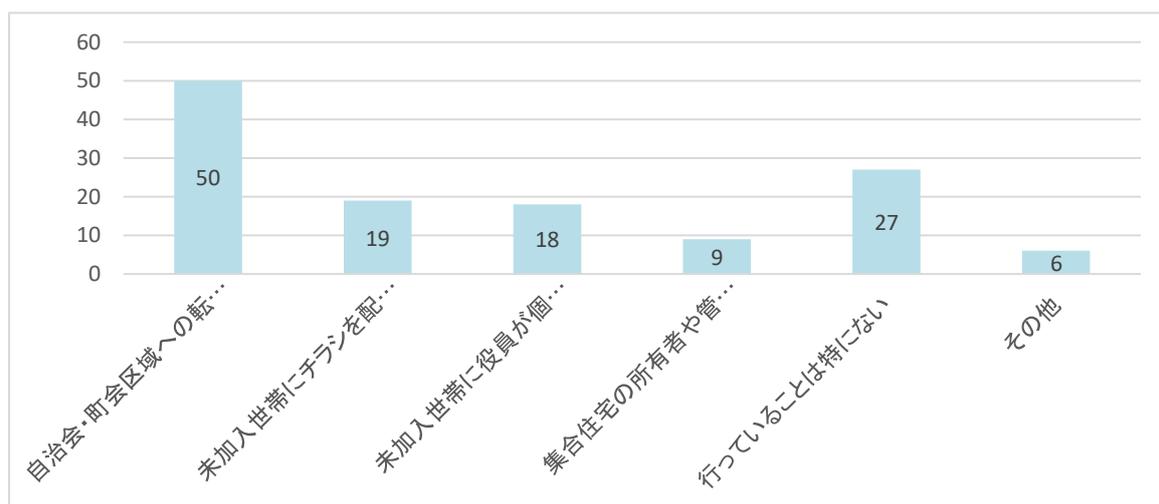


問11 自治会・町会への加入を促進するために行っていることについて(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	自治会・町会区域への転入者に加入の案内をしている	50	53.2%
2	未加入世帯にチラシを配布している	19	20.2%
3	未加入世帯に役員が個別に訪問している	18	19.1%
4	集合住宅の所有者や管理会社に加入を呼びかけている	9	9.6%
5	行っていることは特にない	27	28.7%
6	その他	6	6.4%
7	未回答	10	10.6%

その他の回答

- ・全世帯に配布している広報紙の自治会加入申込書を付けている。
- ・会費集金時に声をかける。
- ・ニュースで啓蒙。
- ・加入も含め、共益費の支払い、個別訪問。

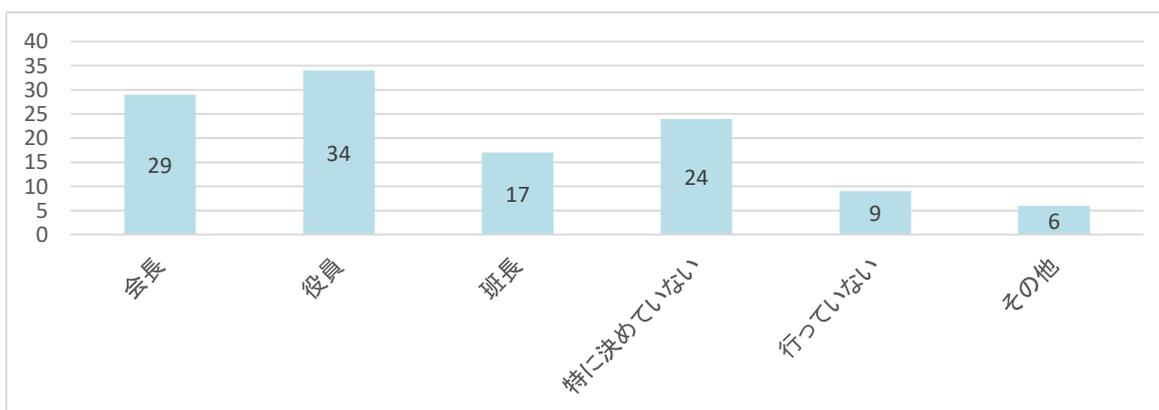


問12 自治会・町会への加入の勧誘をされている方について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	会長	29	30.9%
2	役員	34	36.2%
3	班長	17	18.1%
4	特に決めていない	24	25.5%
5	行っていない	9	9.6%
6	その他	6	6.4%
7	未回答	10	10.6%

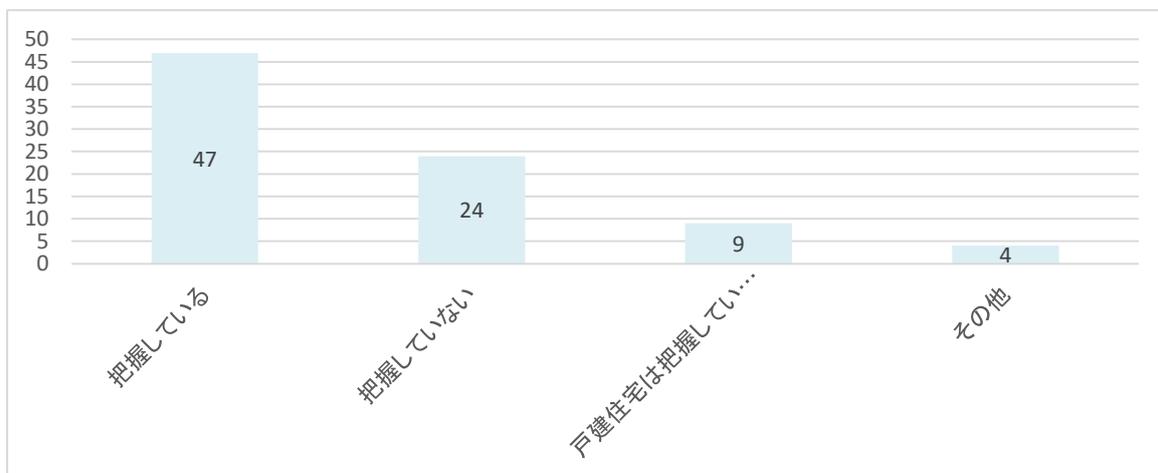
その他の回答

- ・自治会発行の広報紙に掲載している。
- ・役員全員、月に1回訪問している。



問13 自治会・町会の未加入世帯数の把握について

選択肢		回答数	割合
1	把握している	47	50.0%
2	把握していない	24	25.5%
3	戸建住宅は把握しているが、集合住宅は把握していない	9	9.6%
4	その他	4	4.3%
5	未回答	10	10.6%

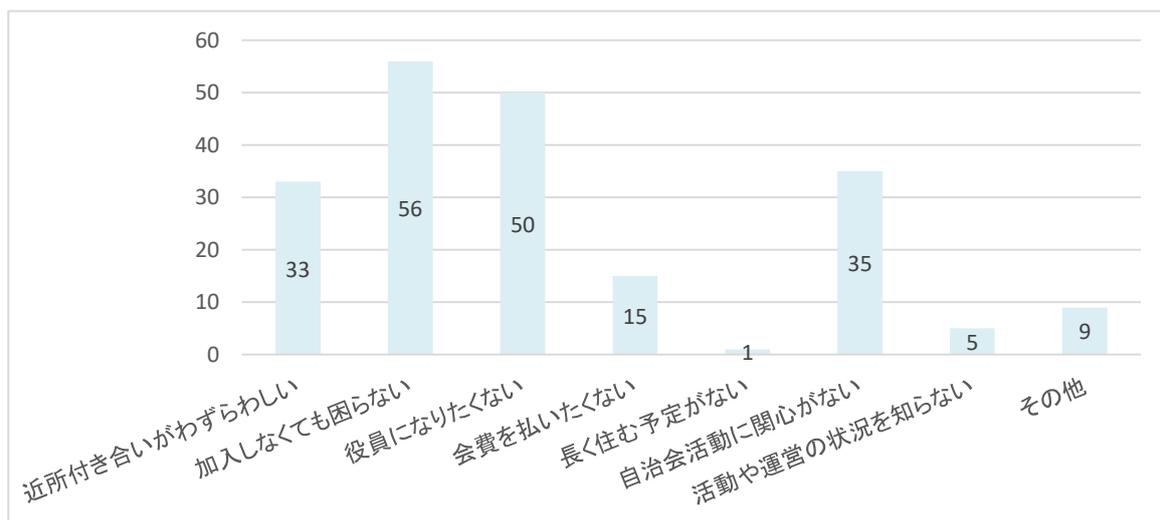


問14 未加入世帯について、自治会・町会に加入しない理由について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	近所付き合いがわずらわしい	33	35.1%
2	加入しなくても困らない	56	59.6%
3	役員になりたくない	50	53.2%
4	会費を払いたくない	15	16.0%
5	長く住む予定がない	1	1.1%
6	自治会活動に関心がない	35	37.2%
7	活動や運営の状況を知らない	5	5.3%
8	その他	9	9.6%
9	未回答	15	16.0%

その他の回答

- ・困ったことや災害等何かあったら市や都で何とかしてくれるなどの意見が多数ある。
- ・役員になりたくない人はたくさんいるいるが、順番でとおしている。
- ・共働きのため。
- ・加入することによるメリットを感じない。

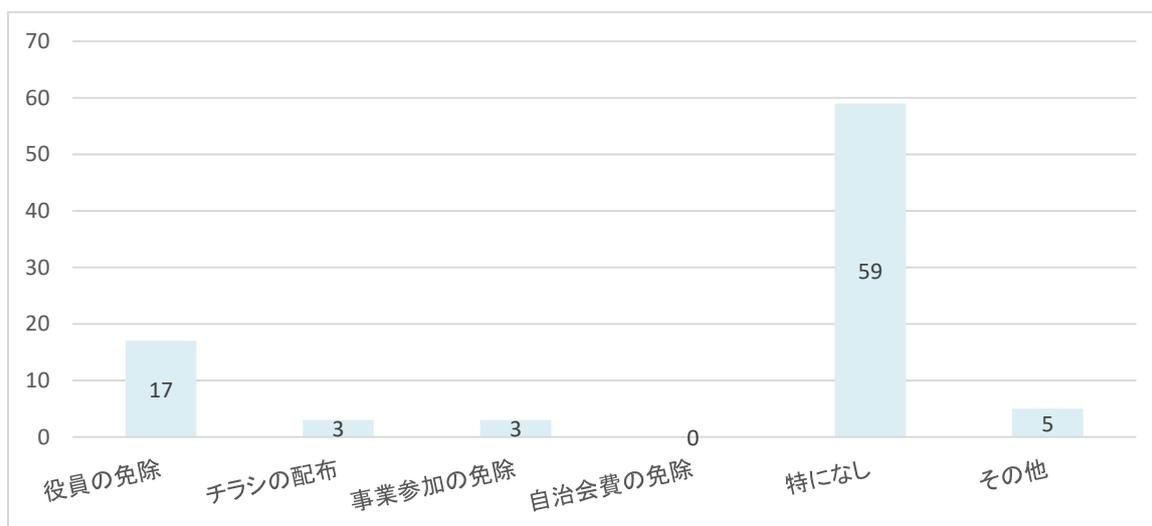


問15 自治会・町会の退会者を減らすために行っている取り組みについて(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	役員の免除	17	18.1%
2	チラシの配布	3	3.2%
3	事業参加の免除	3	3.2%
4	自治会費の免除	0	0.0%
5	特になし	59	62.8%
6	その他	5	5.3%
7	未回答	12	12.8%

その他の回答

- ・日々、会員のためになる取り組みを意識して運営している。
- ・班長の免除。
- ・各班において、高齢者または班長の役ができにくい方には免除をして、できる方がやるよう協力している。
- ・みなさんが参加できる事業を行っている。
- ・退会の条件を決めておく。

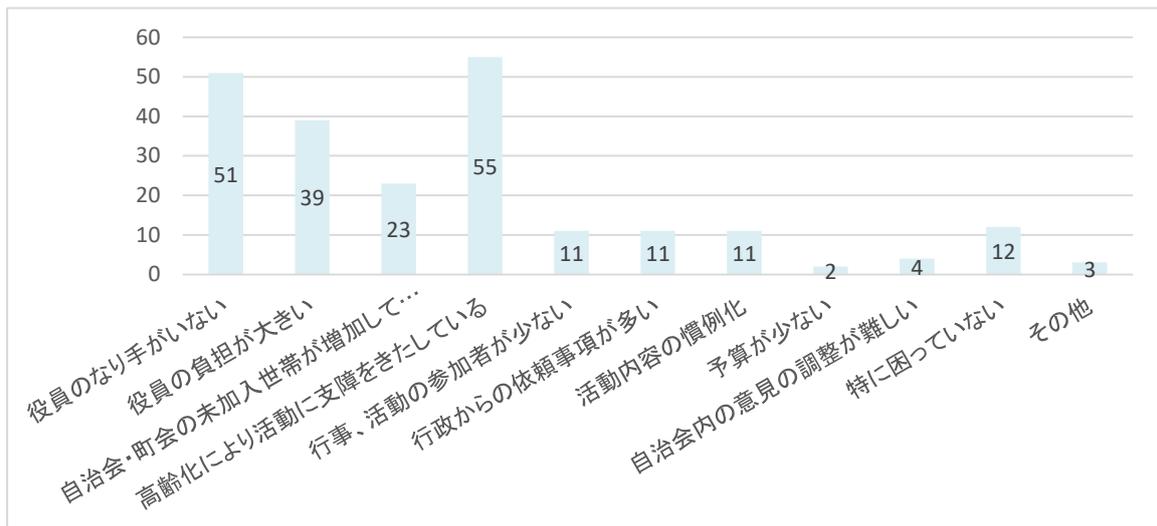


問16 自治会・町会運営の課題について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	役員のなり手がいない	51	54.3%
2	役員の負担が大きい	39	41.5%
3	自治会・町会の未加入世帯が増加している	23	24.5%
4	高齢化により活動に支障をきたしている	55	58.5%
5	行事、活動の参加者が少ない	11	11.7%
6	行政からの依頼事項が多い	11	11.7%
7	活動内容の慣例化	11	11.7%
8	予算が少ない	2	2.1%
9	自治会内の意見の調整が難しい	4	4.3%
10	特に困っていない	12	12.8%
11	その他	3	3.2%
12	未回答	10	10.6%

その他の回答

- ・行事などには一般参加してくれるが、自治会には加入してもらえない。
- ・若い世代の参加が少ない。
- ・行政からの掲示や回覧物が多い。
- ・役員のなり手の確保が大変。

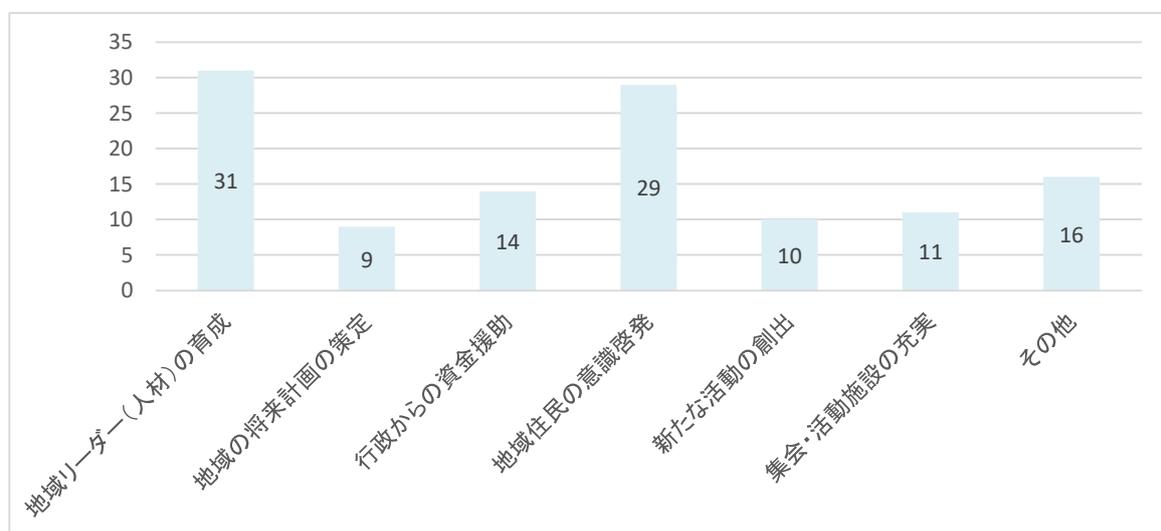


問17 課題や問題点解決のために必要なことについて(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
1 地域リーダー(人材)の育成	31	33.0%
2 地域の将来計画の策定	9	9.6%
3 行政からの資金援助	14	14.9%
4 地域住民の意識啓発	29	30.9%
5 新たな活動の創出	10	10.6%
6 集会・活動施設の充実	11	11.7%
7 その他	16	17.0%
8 未回答	15	16.0%

その他の回答

- ・継続的な話し合いが必要。
- ・役員会での良好なコミュニケーション。
- ・高齢化時代におけるあり方の検討。
- ・住民の高齢化により活動できないのではないか。
- ・自治会事業(活動)の簡素化。
- ・役員負担の軽減。
- ・高齢者が多く、課題に向き合えない。



問18 地域の見守りや人と人とのつながりづくりなど、自治会単位では問題解決が難しいと思うことについて

【防犯・防災・安全】

- ・防災訓練や講習会など呼びかければ参加してくれる。
- ・防災訓練などは、周辺自治会と連携して行っている。
- ・空き家、空き地対策(環境保全と安全確保)。
- ・世帯全員の把握が難しく、災害時等の安否確認などの準備ができていない。
- ・不審者、詐欺電話が多く、人と人とのつながりが難しい。
- ・防犯カメラの設置の要望あり、個人情報等の関連もあるので、都や市の方で許可がおりれば、自治会で対処するが。

【高齢者・見守り】

- ・小さい地域単位での活動はしている。また、昔ながらの見守りが自然に行われている地域もある。自治会単位にすることに対し、役員の中で反対意見が多い。
- ・災害時、要援護者の登録が40人ほどと増加傾向にある。(ほとんどは80才以上の独居または高齢夫婦)
- ・定期的な見守りが地域でできておらず、公助も希望する。
- ・独居老人が増えている。
- ・住民の高齢化により活動できないのではないか。
- ・ボランティア部会で活動。要介護支援、2カ月に一度介護者宅へ訪問し、顔をみて話をしチェックしている。
- ・常に、社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携は必要だと思う。
- ・高齢者独居の世帯の見守り。
- ・見守りは、自ら使命を感じてしてくれる方がいる。

【自治会加入・個人情報】

- ・自治会未加入者にも自治会発行の広報を配布している。
- ・新しく引っ越して来られた方々の自治会活動に対する意識の欠如。
- ・高齢者の退会。
- ・近所付き合いに対する考え方。
- ・個人情報保護の問題があり、なかなか把握できない。
- ・新居者については、それなりに時間がかかると思う。
- ・アパートやマンション住民の方々のことが把握できない。
- ・時間を作って積極的に行動を考えているが、なかなか難しい。
- ・何らかの理由で、一旦退会された方は、どのような取り組みをしても、再加入に至らない。
- ・新たに入居される若年世帯は、まわりとの付き合いが煩わしいのか加入意識が希薄である。
- ・自立性の高い人が多く、自治会を超えて個人で他と繋がっている。
- ・隣近所との繋がりは薄い。
- ・自治会を退会する世帯が多い。
- ・若い人が少なく、ほとんどが高齢者である。
- ・地域の見守りなど、自治会未加入世帯の個人情報の把握はできない。また加入世帯でも自治会に個人情報を収集され管理されることを嫌う人がいると考えられる。
- ・入居が始まって18年、高齢化が進み自治会活動に参加できる方が少なくなっている。また、独り住まいが多く、何かあったときの連絡先もわからない。

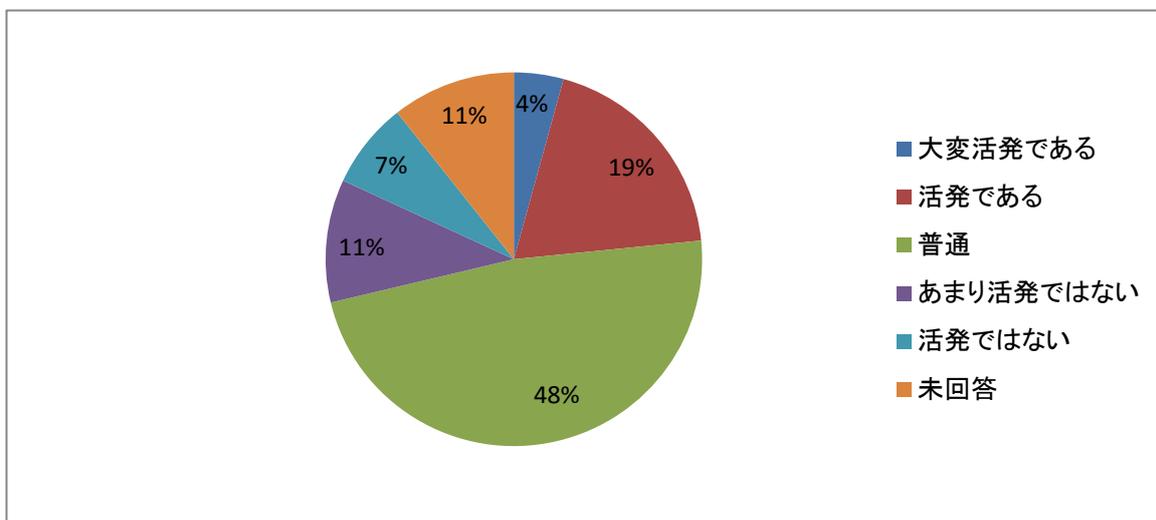
【その他】

- ・ペット動物の糞の始末などの適切な管理。
- ・自転車速度違反などの取り締まり等町内の交通安全確保。
- ・将来的にICTの活用が望まれる。
- ・子どもたちの意識付け。地域活動参加意義に関する社会教育。
- ・地番の整備。
- ・ごみの出し方等注意をPOP等でお知らせしているが、あまり改善せず。
- ・一般人の我々には対応が困難な事例については、行政で対応願いたい。

3 自治会・町会の活動について

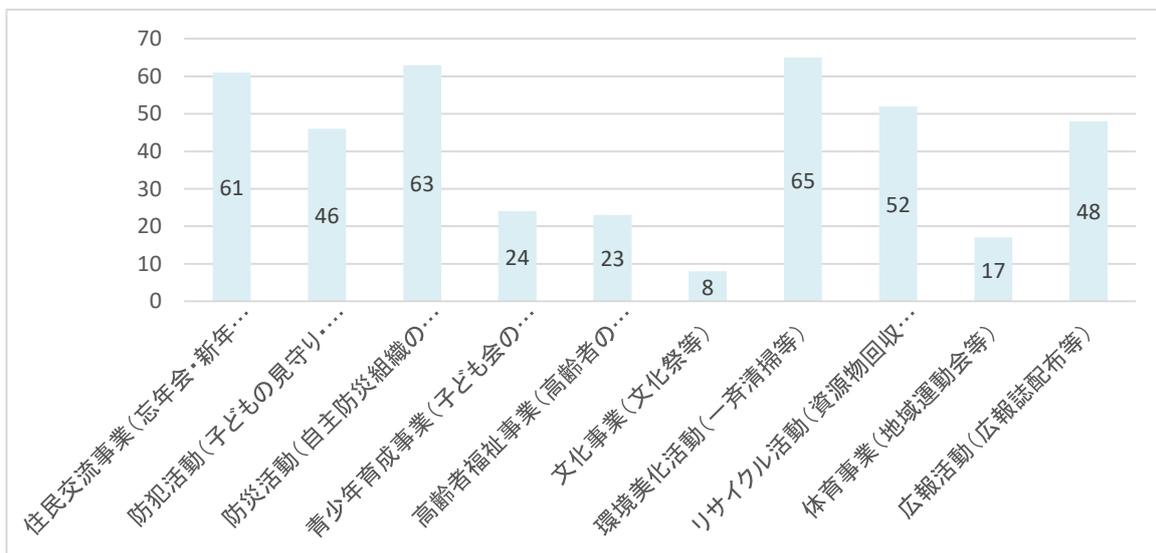
問19 自治会・町会の活動状況について

選択肢		回答数	割合
1	大変活発である	4	4.3%
2	活発である	18	19.1%
3	普通	45	47.9%
4	あまり活発ではない	10	10.6%
5	活発ではない	7	7.4%
6	未回答	10	10.6%



問20 自治会・町会で行っている活動や事業について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	住民交流事業(忘年会・新年会・夏祭り・餅つき大会等)	61	64.9%
2	防犯活動(子どもの見守り・地域パトロール・防犯灯管理等)	46	48.9%
3	防災活動(自主防災組織の設置・防災訓練等)	63	67.0%
4	青少年育成事業(子ども会の運営・ラジオ体操・ハロウィン・クリスマス会等)	24	25.5%
5	高齢者福祉事業(高齢者の見守り・独居老人への声かけや訪問)	23	24.5%
6	文化事業(文化祭等)	8	8.5%
7	環境美化活動(一斉清掃等)	65	69.1%
8	リサイクル活動(資源物回収等)	52	55.3%
9	体育事業(地域運動会等)	17	18.1%
10	広報活動(広報誌配布等)	48	51.1%
11	未回答	11	11.7%

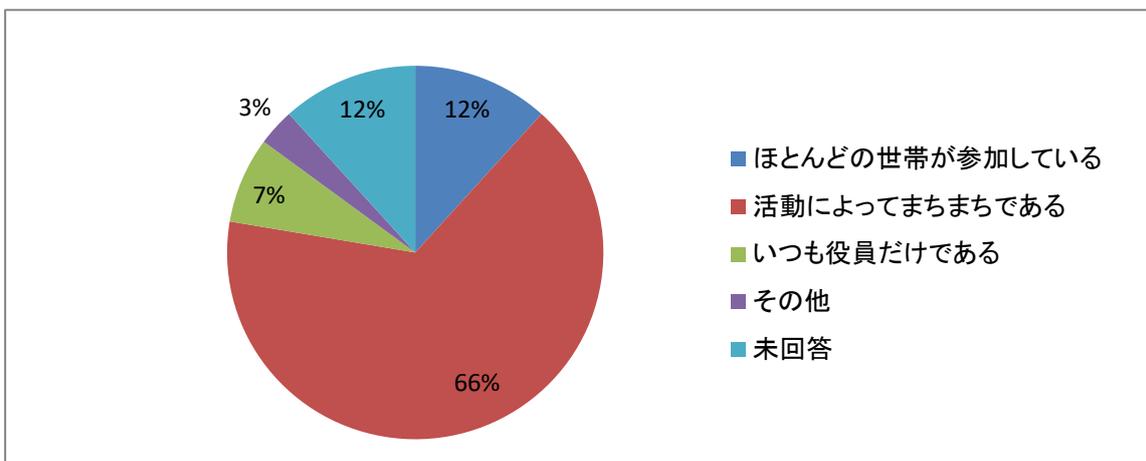


問21 自治会・町会活動の際の会員参加状況について

選択肢		回答数	割合
1	ほとんどの世帯が参加している	11	11.7%
2	活動によってまちまちである	62	66.0%
3	いつも役員だけである	7	7.4%
4	その他	3	3.2%
5	未回答	11	11.7%

その他の回答

- ・役員以外の参加はわずかである。
- ・全体的に少ない。

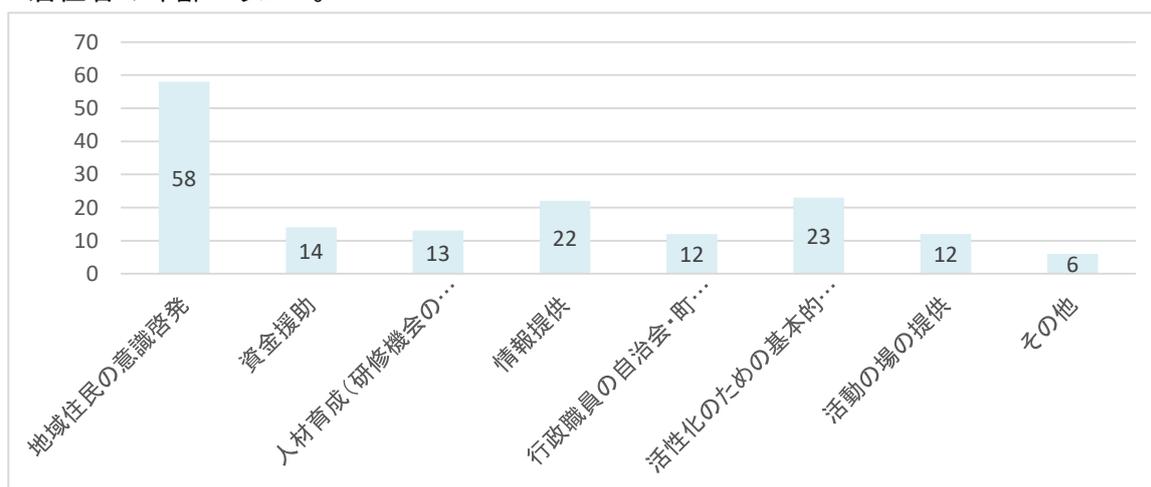


問22 自治会・町会活動の活性化のために必要なものについて(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	地域住民の意識啓発	58	61.7%
2	資金援助	14	14.9%
3	人材育成(研修機会の提供等)	13	13.8%
4	情報提供	22	23.4%
5	行政職員の自治会・町会活動への参加	12	12.8%
6	活性化のための基本的な方向づけ	23	24.5%
7	活動の場の提供	12	12.8%
8	その他	6	6.4%
9	未回答	16	17.0%

その他の回答

- ・広報紙やポスターなどでお知らせする。
- ・住民の若年層が増えないと難しい。
- ・居住者の年齢バランス。



問23 自治会・町会の活性化のために、工夫していることについて

【広報紙発行】

- ・自治会発行の広報紙配布の際は、役員全員参加で配布している。
- ・チラシの配布回数を増やす。
- ・コロナで全て中止のため、自治会だよりに力を入れて良いものを作成している。
- ・毎月発行しているチラシに使用している施設の使用状況、事業の予告と報告、コロナ禍での活動内容等を掲載している。
- ・毎月の回覧ではできるだけ大きな文字で分かりやすく活動の紹介をしている。
- ・自治会報の配信（健康情報等記載）

【事業実施】

- ・防災、防犯の学習会を実施している。
- ・役員の確保や高齢化などの対応があるが、地域住民や地域の諸団体の協力を得ながら伝統事業などを継承していくしかないと考えている。
- ・魅力ある新規格の模索。
- ・コロナ禍にあっても、対策を講じつつ、消火器を使った身近な訓練や子どもと高齢世帯をつなぐハロウィンイベントは継続している。
- ・集会所で、小学生対象に勉強会やラジオ体操、幼児対象に読み聞かせ、高齢者対象にサロン活動を行っている。
- ・例年続けている行事は継続させて、地域の交流活動にしている。
- ・夏祭りの協賛。
- ・自治会会員全員が必要と理解できる事業に特化し、できるだけ活動の簡素化を図ることとしている。
- ・年2回、一斉清掃を行い、飲み物を配布し、終了後に話し合う機会を設けている。
- ・できる限り年1回は食事会などを開催。
- ・定期的なサロン活動を行っている。（ふれあい夏まつり、新春の集い「餅つき大会」、食事会、趣味の会、ひなまつり会、文化祭、近所de元気アップトレーニング、朝のラジオ体操等）
- ・地域内の神社の祭礼等の行事を氏子と自治会員で行ってきており、これが自治会員の結束となっていたが、近年出店場所の確保が難しくなり、出店が出来ない状況。盛り上がり欠け、対応策を検討中である。
- ・子ども、女性が参加できる楽しい行事を考えている。
- ・会員だけでは人が集まらないので、会員以外の方も参加できる行事。
- ・自治会組織とは別に、有志による住民同志知り合うための目的に、茶話会、折り紙、裁縫クラブなどの活動を毎月一回開催してもらっている。自治会からも活動援助金を出している。
- ・一斉清掃DAYへの参加協力。
- ・今年は地域の環境維持のあり方で、多くの方と話し合いが行われている。
- ・清掃活動や伝統行事は老人会と共催で実施している。
- ・どんど焼き時には、自治会以外の人たちも大勢参加されている。
- ・清掃デーの日のバーベキュー大会等住民交流の場を作っている。
- ・必ず参加特典を盛り込んでいる。
- ・新年会、お花見など親睦会を開催している。

【自治会の役員体制など】

- ・理事会メンバーがまず親しくなれるよう、役割分担を図っている。
- ・固定された方に役員の負担が発生しないよう、持ち回りで役員を交代制にしている。
- ・コロナ禍のもと、活動が停止しないように役員間のメールの活用やテレビ会議の導入を行っている。
- ・イベントも嫌い、必要ないと思う人もいるかもしれないが、その工夫もしながら努めなくてはならないと思う。
- ・自治会のあり方について検討する。
- ・各部会を設けて年間行事を行っている。各部会がかなり活発に動いている。

- ・自治会員との今まで以上のコミュニケーション。
- ・新しい居住世帯への案内や、規程等の出産お祝い等見直しすること等考えながら運営している。
- ・役員や運営委員の負担を軽くすること。
- ・高齢者が多いので、無理のない範囲でお願いしている。各役員リーダーを決め、仕事も分散して行えるようにしている。
- ・自治会会員の高齢化に伴い、次回役員負担軽減化が大きな問題になってきている。
- ・毎月運営委員会を開催して情報収集に努めている。
- ・誰でも役員ができるような簡便な運営。

【その他】

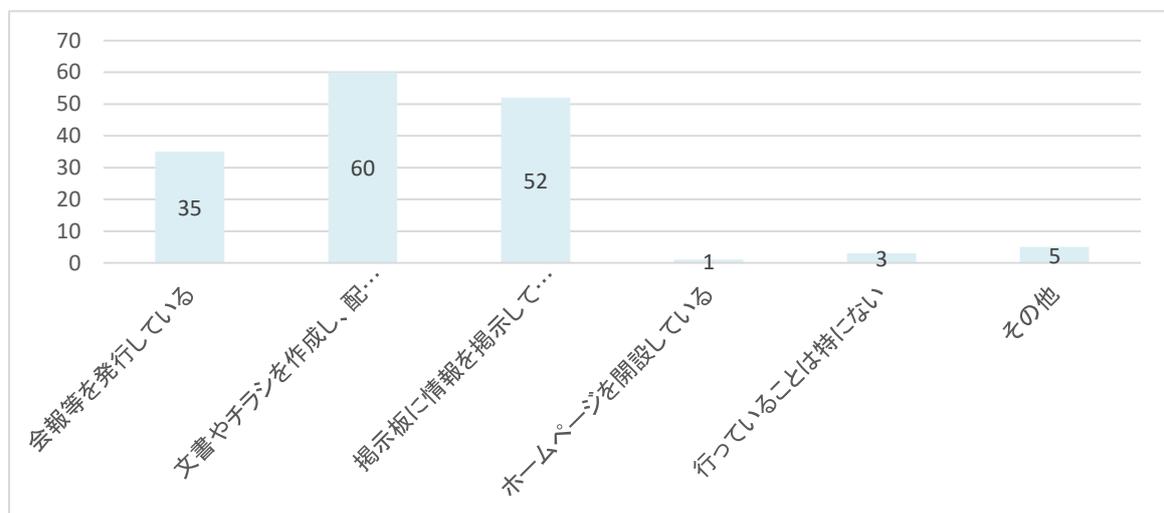
- ・地区委員の参加依頼。
- ・新たな活動を計画したが、コロナの関係で全て破棄した。
- ・住んでいる人の思い、自分の住んでいる場所の居心地のよさが大切だと思う。
- ・元気に挨拶をする。他者への気遣い。覚悟と情熱をもって日々を生きる。信念をもって行動する。

問24 自治会・町会の運営や活動について住民に知らせるために行っていることについて
(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	会報等を発行している	35	37.2%
2	文書やチラシを作成し、配布・回覧している	60	63.8%
3	掲示板に情報を掲示している	52	55.3%
4	ホームページを開設している	1	1.1%
5	行っていることは特にない	3	3.2%
6	その他	5	5.3%
7	未回答	12	12.8%

その他の回答

- ・週1回程度、広報紙を発行し、未加入世帯も含めて配布し、できるだけ情報を届けている。
- ・IT化も活用しスムーズな運営に取り組んでいる。
- ・役員会の議事録を回覧している。
- ・定期的な会議や全体清掃。
- ・ホームページや簡単ブログの作成を検討中。

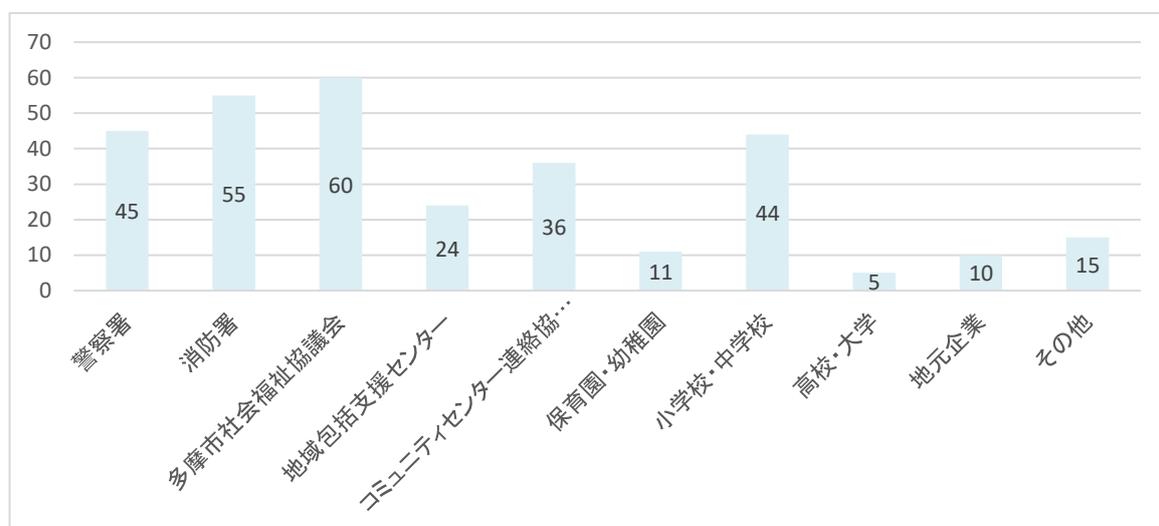


問25 自治会・町会と他の団体等との横の連携について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	警察署	45	47.9%
2	消防署	55	58.5%
3	多摩市社会福祉協議会	60	63.8%
4	地域包括支援センター	24	25.5%
5	コミュニティセンター連絡協議会	36	38.3%
6	保育園・幼稚園	11	11.7%
7	小学校・中学校	44	46.8%
8	高校・大学	5	5.3%
9	地元企業	10	10.6%
10	その他	15	16.0%
11	未回答	14	14.9%

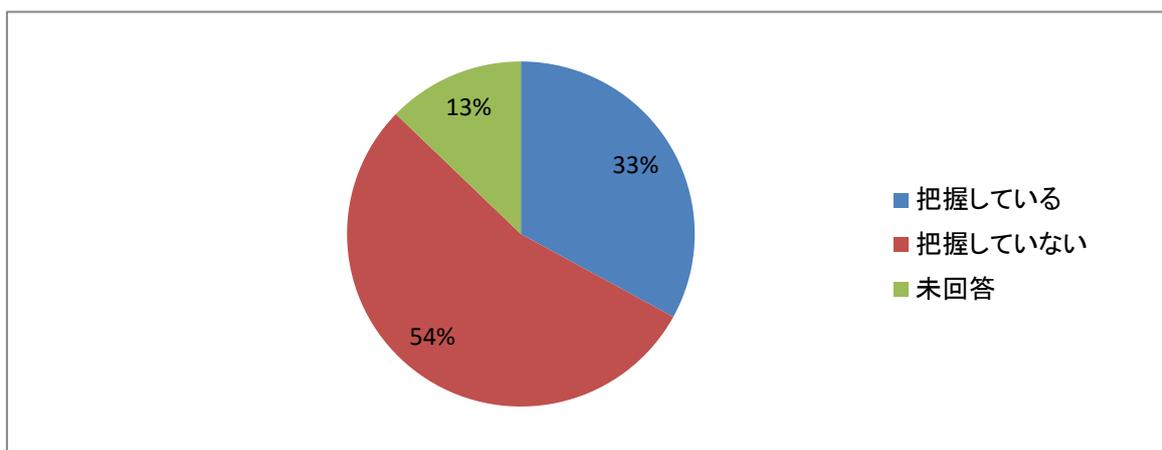
その他の回答

- ・都立特別支援学校
- ・近隣自治会との定例的な情報交換会。
- ・消防団
- ・他ブロックとの会長同志の会合(3か月に2回)



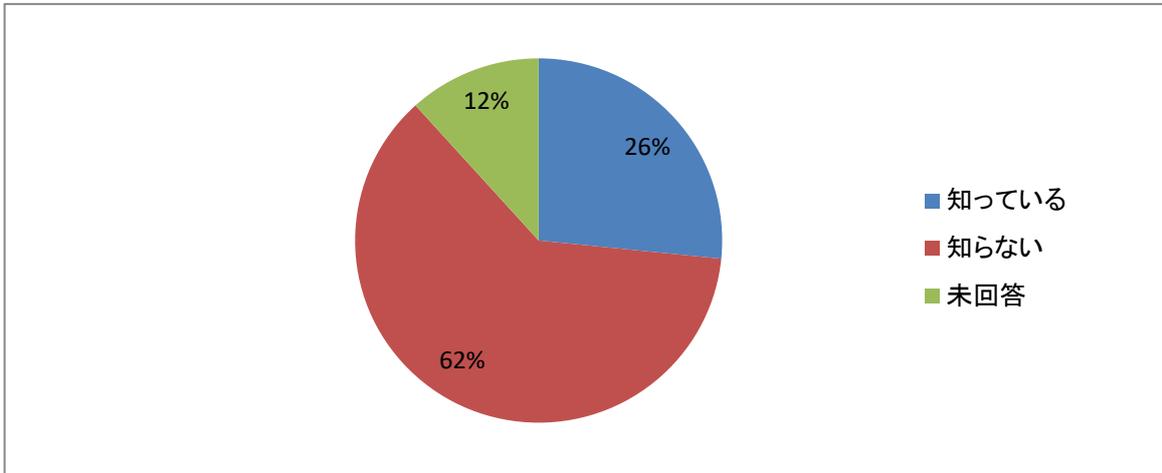
問26 自治会・町会での災害時要配慮者の把握について

選択肢		回答数	割合
1	把握している	31	33.0%
2	把握していない	51	54.3%
3	未回答	12	12.8%



問27 大規模災害時に設置される災害ボランティアセンターについて

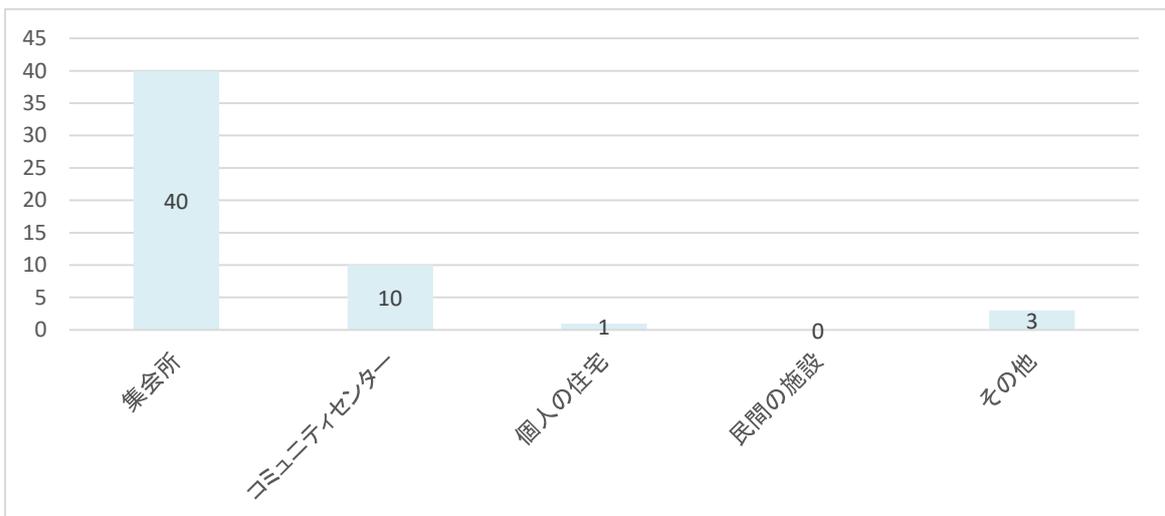
選択肢		回答数	割合
1	知っている	25	26.6%
2	知らない	58	61.7%
3	未回答	11	11.7%



4 集会所の活用について(43団体対象)

問28 自治会・町会での活動を行う時に利用している施設について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	集会所	40	93.0%
2	コミュニティセンター	10	23.3%
3	個人の住宅	1	2.3%
4	民間の施設	0	0.0%
5	その他	3	7.0%
6	未回答	2	4.7%

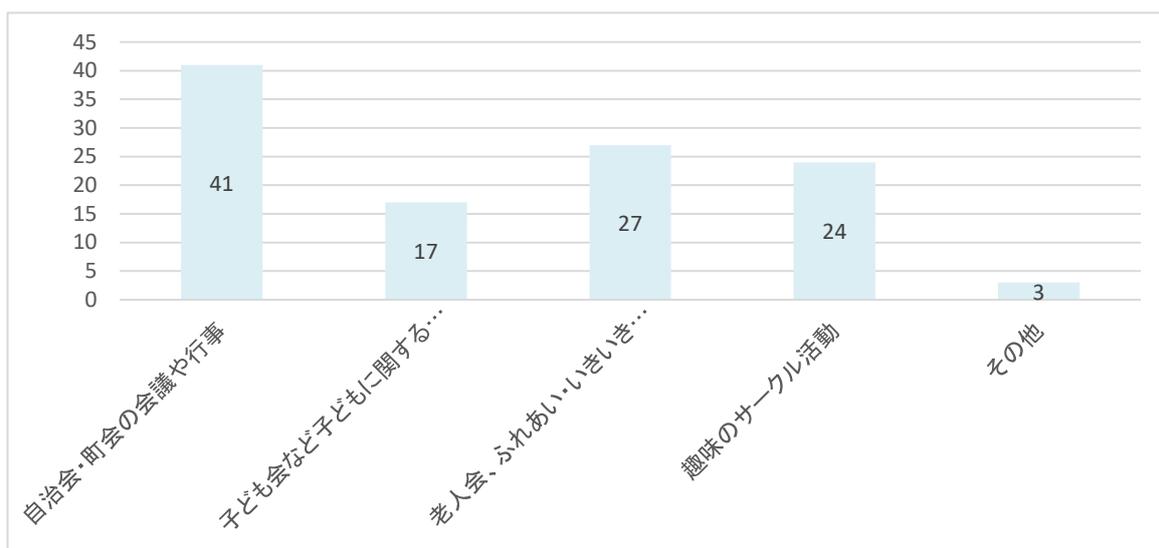


問29 集会所での主な活動内容について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
1	自治会・町会の会議や行事	41	95.3%
2	子ども会など子どもに関する活動	17	39.5%
3	老人会、ふれあい・いきいきサロンなど高齢者に関する活動	27	62.8%
4	趣味のサークル活動	24	55.8%
5	その他	3	7.0%
6	未回答	2	4.7%

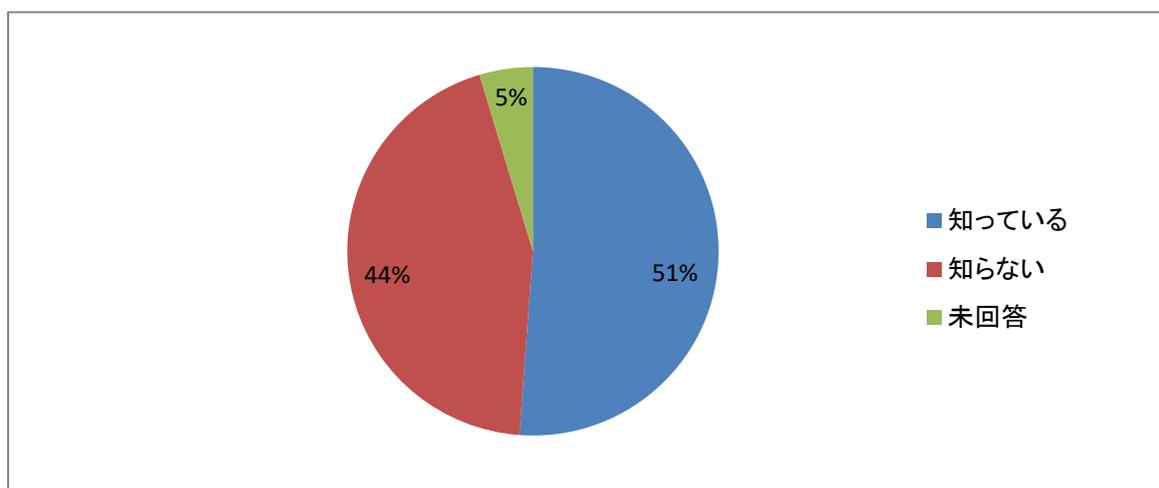
その他の回答

- ・天神祭
- ・盆踊りの準備
- ・子ども食堂
- ・猫の捕獲活動
- ・地域防災、防犯活動
- ・他のマンション管理組合の集会への貸出。



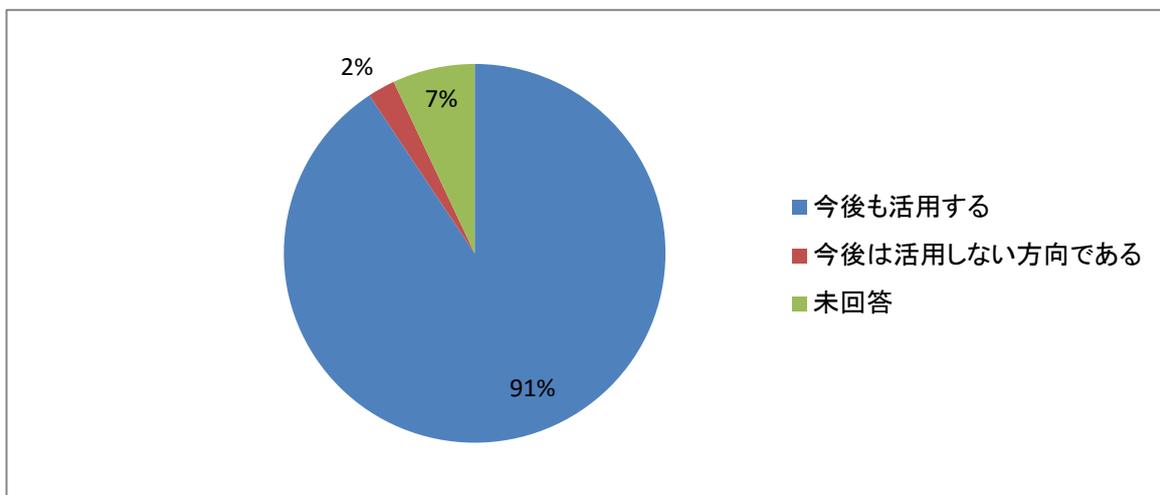
問30 集会所を活用した地域の居場所づくりである「ふれあい・いきいきサロン」について

選択肢		回答数	割合
1	知っている	22	51.2%
2	知らない	19	44.2%
3	未回答	2	4.7%



問31 今後の集会所の活用について

選択肢		回答数	割合
1	今後も活用する	39	90.7%
2	今後は活用しない方向である	1	2.3%
3	未回答	3	7.0%

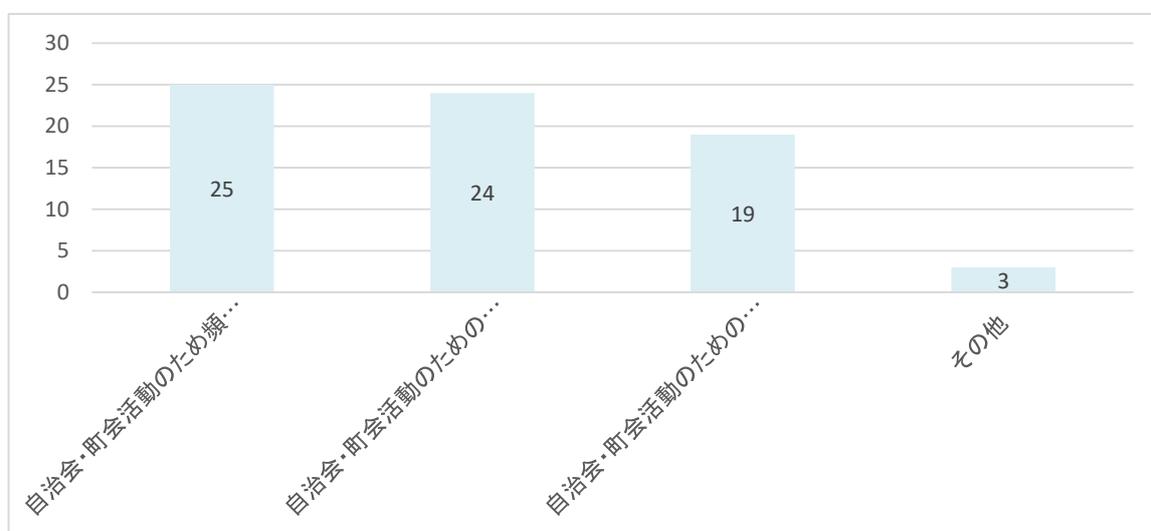


問31で1「今後も活用する」を選択した理由について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
a	自治会・町会活動のため頻繁に使用している	25	64.1%
b	自治会・町会活動のための使用は多くないが、自治会の物品等が多く置いてある	24	61.5%
c	自治会・町会活動のための使用は多くないが、趣味のサークル活動などに使用されている	19	48.7%
d	その他	3	7.7%

その他の回答

- ・老人会や趣味の活動にも利用している。
- ・小学校のスポーツ団体等でも活用している。
- ・近隣マンションの集会等。

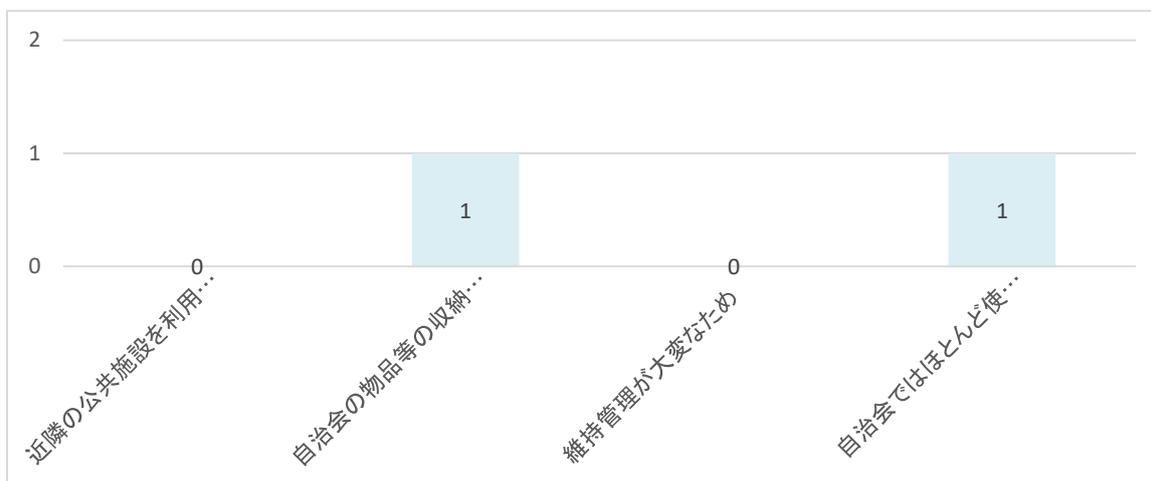


問31で2「今後は活用しない」を選択した理由について(複数回答可)

選択肢		回答数	割合
a	近隣の公共施設を利用する	0	0.0%
b	自治会の物品等の収納施設(物置等)があれば必要ではない	1	100.0%
c	維持管理が大変なため	0	0.0%
d	自治会ではほとんど使用しない	1	100.0%
e	その他	0	0.0%

その他の回答

- ・会議はコミセンを利用している。集会所は●●町にあり、身近に感じず▲▲町会との併用、負担金に見合うメリットがない。置いてある物品は防災倉庫に工夫しておけばよい。



問32 集会所について、自治会・町会としての課題について

【修繕や光熱水費等の管理経費について】

- ・集会所の修繕及び維持費の増加。
- ・建物の年数が経っており、畳の部屋がほとんどで、高齢者が多くなっているため椅子にしたい。
- ・施設の老朽化。築40年を超えており、外壁の劣化や雨漏りなど建て替え、大規模修繕の必要な時期である。
- ・集会所は、地域活動の拠点として今後とも大いに活用したいと思っている。そのために、施設の耐用年数に合わせた建て替えや大規模修繕の基準を示してほしい。
- ・自治会の財政では賄うことが出来ず、公助を期待している。
- ・建物が古いため、備品費や修理等に費用が必要なため、積立金がある。
- ・市も集会所を身近な地域資源として活用を位置づけるのであれば、維持管理(経費)にも配慮してほしい。
- ・活用頻度が減少。経費をカバーできない状況になっている。
- ・現在の市が要求している集会所の管理に対応できない。市民は、市民税、固定資産税、都市計画税を毎年支払っている。地方自治法第10条「住民の意義・権利義務」を参照願いたい。
- ・集会所が古いので、いろいろよくしてほしい。まずは水回り(トイレ)など。
- ・外部改修(屋根・外壁)時期である。

【運営等】

- ・周辺の公共施設の使用料を減額したため、集会所の利用率が減少し、集会所の使用料を減額したら、コロナ禍もあり使用料収入が光熱水費や小破修繕費を大きく上回り、施設の管理運営が厳しい状況である。

- ・地域挙げて国際的な交流も進めていきたいと考えている。
- ・高齢化が進んでいるため、今後体力的に役員を務めることが難しくなってくる人が増えるのではないかと、今後の維持管理が難しくなると思われる。
- ・積極的に役員同士等連絡し合い、会員の方へのお知らせ等を行い、利用を増やしていきたいと考えている。
- ・他の自治会との共用利用だが、責任が曖昧である。
- ・■町会とは体質が異なり、●町会からのなじみも少ない。一般の利用なほとんどない。
▲町会の集会所なら近くメリットが高いが、利用できるか不明。できれば、集会所利用の組み合わせを変えて▲町会にある集会所を利用させて欲しい。
- ・近隣の自治会と今後話し合いを通じ、合同で活動したらと考えている。
- ・親の代まではなんとか活動もできると思うが、子どもたちの場合はわからない。

【防災・防犯等】

- ・夜になるとひと気が少なくなるので、防犯面で心配。
- ・センサーライトや防犯カメラ等の設置が必要ではないか。
- ・長い年月、玄関の鍵が多数複製されたらしく、不用心になっているので、複製が困難な鍵に替えるか考え中である。
- ・自治会が管理運営しているが、利用する組織・団体が見えにくい。
- ・指定避難所まで行くには起伏があり、高齢者や車椅子利用者にとって困難なため集会所を避難所として充実させてほしい。
- ・今年度「防災委員会」を発足した。その中で、災害時における集会所の役割について検討する予定である。
- ・災害時の対応なども課題。
- ・災害時の避難場所としての活用ができるような建物にはできないか。
- ・災害時、地域住民が一時的にも避難所として使用した場合、収容できる人数が少ない。また、現在の集会所は木造で耐震的に問題がないか心配である。

【備品】

- ・カラー複写機の設置やWifi環境の整備。
- ・導入備品や修繕箇所によっては、一部負担を含め行政の援助をお願いしたい。

【その他】

- ・使いやすい場所で感謝している。
- ・集会にみなさんが集合するといっぱいになってしまい、これ以上増えていくと一度に入りきれず、困っている。
- ・新型コロナウイルス感染症が収まらないと、飲食が出来ないので、使用する機会がますます減少すると思われる。